

SUNABA GALLERY

2015年4月4日 開業のお知らせ

SUNABA ギャラリー代表 樋口ヒロユキ

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-17-15

080-6145-7977(営業時間内のみ)

sunabagallery@gmail.com

私こと樋口ヒロユキは、来る2015年4月4日、SUNABA ギャラリーを大阪・日本橋に開業いたします。SUNABA ギャラリーは若手からベテランまで、幅広い作家の皆さんの発表の場としてオープンするギャラリーです。ギャラリー名の「SUNABA」とは、子どもの遊ぶ公園にある、あの砂場のことです。作家、コレクター、ジャーナリスト、さまざまな人々が集ってアートで遊ぶ、砂場のような場所になればと思って名付けました。

SUNABA ギャラリーは半分がレンタルの貸画廊、半分が企画の商業ギャラリーという、プロアマ混成のギャラリーをめざしています。既にプロ作家の方数名のご協力をいただき、プロとアマの合同展も幾つか決定。プロ作家の作品と、公募によるアマチュア作品の同時展示という、プロアマ混成のグループ展開催を予定しています。

いっぽうプロ作家による企画展や、美大、芸大の在校生、卒業生からピックアップしたユニークな新人の個展、グループ展も数多く企画。このほか夏には連続トークショーも予定しており、美術以外にも建築や文学、演劇など、多彩なジャンルからのゲストをお招きし、ジャンルの境界を越えて多くの人が交流するギャラリーをめざしています。

作家やコレクター、画学生の皆さんどうしのゆるやかな交流はそのままに、さらにいっそうの高みをめざす作家にとっては、より成長していける舞台として。多くの皆さんの遊び集う「砂場」として弊廊がお役に立てば、これに勝る幸いはございません。

2015年4月4日(土)~15日(水) 4月9日(木)、10日(金) 休廊

「東學 + 月夜乃散歩 少女の化石」

東學は墨絵ならぬ「墨画」と呼ばれる独自の技法を用いる絵師として知られ、劇団「維新派」や劇団 EXILE などの宣伝美術や、鬼束ちひろのシングル「陽炎」(2006)、画集『天妖』(パルコ出版、2007)、片岡愛之助の舞台でのライブペインティング(2014)などでも知られています。写真家の月夜乃散歩は、さまざまなモチーフを一点ずつ撮影し、Photoshop 上で再構成する手法で知られ、写真評論家の飯沢耕太郎氏など各方面からの高い評価を受けています。本展では二人それぞれの作品のほか、両者コラボによる新作も展示。異色の組み合わせによる二人展です。



(c)東學、月夜乃散歩



(c)東學作品



(c)月夜乃散歩

2015年5月2日(土)～6日(水)

公募グループ展「SUNABA 動物園」

招待作家：日月沙絵(たちもり・さえ)、特別出品：ミヤタケイコ

公募作家：夜乃雛月、福本友佳、三木香、蛾売りおじさん、新竹季次、みそら、神吉都望、柴田美智子、ふくだあゆみ、犬田いぬら、前川ルチオ、びこうさ、起優衣



日月紗絵《BISON》

「SUNABA 動物園」はSUNABAならではの、プロアマ混成による公募グループ展の第1弾です。「動物」をテーマにした公募展ですが、禽獣虫魚なんでもあり。招待作家はVOGUE JAPAN WEB サイト(2014)や資生堂「マジョリカマジョルカ」ポスター(2013)などの仕事で知られるイラストレーターの日月沙絵(たちもり・さえ)、そしてきゅりーぱみゅぱみゅの衣裳を手掛けたことでも知られる異形のぬいぐるみ作家、ミヤタケイコ。第一線のプロの作品に、若いアマチュアたちが挑戦します。

2015年5月23日(土)～6月3日(水)

5月28(木)、29(金)休廊

企画展「聖母出現」西沢みゆき a.k.a. 新聞女 × ハモニズム



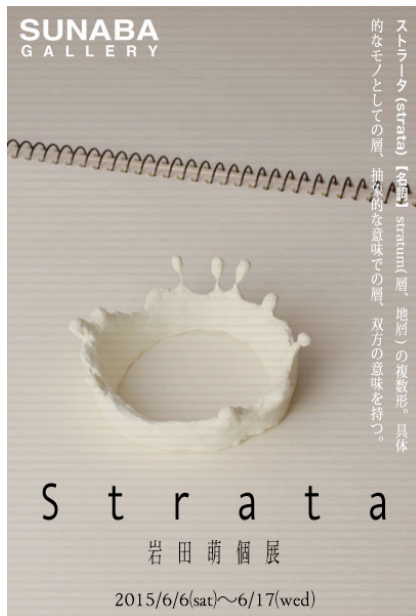
(c)西沢みゆき、ハモニズム

1968年兵庫県生まれの西沢みゆきは、新聞製ドレスをまとったパフォーマンスで世界的に知られ、近年は米グッゲンハイム美術館(NY)でもパフォーマンスを披露しました。1982年スペイン生まれのハモニズムは「クリエイティブアワード関西2014」でグランプリを受賞するなど、近年目覚ましい活動を見せている若手。聖母マリアが昔、貧しい人々をドレスで囲って加護したという伝説にちなみ、本展では西沢が新聞のドレスをまとった聖母に扮します。会場では西沢が制作した新聞ドレスのほか、西沢のパフォーマンスをハモニズムが撮影、画像処理を加えた作品を展示。世界で活躍するパフォーマーと新進アートディレクターとのコラボをご高覧ください。

2015年6月6日(土)～6月17日(水)

6月11(木)、12(金)休廊

企画展「Strata」岩田萌



岩田萌は 2013 年に京都精華大を卒業した新人作家。SUNABA ギャラリーでのこの展示が、彼女にとっての初個展となります。コマ撮りアニメによる映像を複数組み合わせで作られるその作品は、最小限の要素の提示による静謐な表現でありながら、豊かなイメージと意味を想起させる、詩情に富んだユニークなもの。北欧製のエレクトロニカにも似たミニマルな美意識をお楽しみください。

岩田萌 《3 cells' montage》2014

2015年7月25(土)～8月5日(水)

7月30(木)、31(金)休廊

公募グループ展「SUNABA トークショー」時刻など詳細未定

建築や文学、演劇など、多彩なジャンルからのゲストをお招きし、多様なジャンルの人々が「越境」をテーマに語る、連続トークイベントです。ジャンル間の越境、民族間の越境、生と死の越境など、幅広い視点からそれぞれの「越境の楽しみ」を語っていただきます。

2015.7.4(土) 中ハシクシゲ(美術作家)

2015.7.5(日) 宮本佳明(建築家)

2015.7.6(月) 服部正(アウトサイダーアート研究)

2015.7.7(火) 島田誠(ギャラリスト)

2015.7.8(水) 岡田旭(行政書士)

2015.7.11(土) 高原英理(作家、文芸評論家)

2015.7.12(日) 千野帽子(俳人、エッセイスト)

2015.7.13(月) 鈴木創士(仏文学者)

2015.7.14(火) 加須屋明子(京都市立芸大准教授)

2015.7.15(水) 飴屋法水(劇作家)

2015年7月4(土)～7月15日(水)

7月9(木)、10(金)休廊

連続トーク「SUNABAメルヘン館 --おとぎばなしの光と影--」

招待作家：谷澤紗和子

公募作家：真木環、琴乎あおい、酒井優衣、ぴこうさ、KANA、銀狐久、カタオカトモコほか(現在募集中)



谷澤紗和子《ミンハメグリ》

正統派メルヘンもあればダークメルヘンもあり。いつけん夢心地、でも恐ろしい裏の面も秘めた物語をテーマにした、SUNABA ギャラリーの公募グループ展第2弾です。招待作家は谷澤紗和子、ギリシャでのグループ展をはじめ、各地の芸術祭を舞台に活躍する中堅美術作家です。各地の民話や伝承をテーマに巨大な切り紙のインスタレーションを制作する谷澤をゲストに迎え、多数のアマチュア作家が腕を競うグループ展です。

ACCESS



「西の秋葉原」こと大阪・日本橋の通称「オタロード」から南へ5分。日本橋4丁目交差点近く、古い商店街の中にSUNABA ギャラリーはあります。木造モルタル2階建て、けれどもそこに世界トップクラスの作家たちが作品展示やトークに訪れ、アマチュア作家とも分け隔てなく交流し、そしてともに世界を夢見る。そんな梁山泊のようなギャラリーが、このSUNABA ギャラリーの理念です。